

対象年度		令和 6年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート											
事務事業名		観光振興事業						予算事業名		観光振興事業費					
予 算 科 目		会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令						
				07	01	05	1101	経常経費							
総合計画体系		歴史と自然を育み にぎわいと活力ある産業を目指そう						事業の区分		主要事業					
		地域資源を活用したにぎわいと交流の促進								重点事業					
		地域資源を活用した観光の振興						担当課係等		商工観光課					
						観光係									
事業期間		継続 (年度～ 年度)													
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】								【事業開始のきっかけや他市の状況など】							
・地域資源及び広域観光を活用した観光振興を図る。・訪日外国人を含む観光誘客の推進及び観光振興による地域活性化を図る。・市内商業者の観光事業への取り組み強化を図ることにより、観光振興と地域活性化の相乗効果を目指す。								観光協会への支援を行う一方で基盤整備は自治体が担っているのが一般的である。また、近年においては、広域連携による観光振興も推奨されており、これに取り組む自治体も多い。							
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】								【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】							
・地域資源を網羅した観光パンフレット等を配布し、観光誘客のアイテムとして活用する。 ・観光協会に対する補助 ・観光物産センターを充実させ販売を促進する。 ・姉妹都市などの関係都市のイベントに参加し、観光誘客活動を行う。								訪日外国人を含む観光客、市内商業観光事業者							
								【事業をとりまく環境の変化】							
								交流人口の増加や地域経済の活性化を図るための手段として「観光振興」が求められているほか、コロナ後のインバウンドの復活も見据える。また、携帯端末の普及により、紙媒体からインターネットを最大限に活用した電子媒体での情報発信が主流となっており、これに関する基盤整備も喫緊の課題である。							
【令和 6年度 事業内容】				【令和 7年度 事業内容】				【令和 8年度 事業内容】							
商業観光振興計画に基づく各種事業を推進する。 ・パンフ増し刷り ・観光協会実施事業の検討 ・市町村境案内板撤去 ・第2次観光振興計画策定委託				商業観光振興計画に基づく各種事業を推進する。 ・パンフ増し刷り ・観光協会実施事業の検討				商業観光振興計画に基づく各種事業を推進する。 ・パンフ増し刷り ・観光協会実施事業の検討							
■事業費															
				R04年度		R05年度									
財源内訳	国	庫	支	出	金	300	0								
	県		支	出	金	0	0								
	地		方		債	0	0								
	そ		の		他	0	0								
	一		般	財	源	9,903	11,269								
歳入計 (千 円)				10,203		11,269									
歳出内訳	節 (番 号 + 名 称)				金額 (千円)		金額 (千円)								
	07 報償費				177		212								
	08 旅費				250		276								
	10 需用費				911		1,427								
	11 役務費				3		30								
	13 使用料及び賃借料				727		730								
	14 工事請負費				264		682								
	18 負担金補助及び交付金				7,871		7,912								
	歳出計 (千 円) (A)				10,203		11,269								
伸 び 率 (%)						10.44									
備考	総合計画92ページ 予算書141～142ページ														

令和 4年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R04年度	R05年度	R06年度
活動 指標	観光物産センター来館者数	人	目標	12,000.00	13,000.00	14,000.00
			実績	5,914.00	0.00	0.00
	伝統工芸館来館者数	人	目標	1,000.00	1,500.00	1,550.00
			実績	1,473.00	0.00	0.00
成果 指標	協会実施イベントの精査・調整	実施	目標	1.00	1.00	1.00
			実績	0.00	0.00	0.00
	観光入込客数（県が年単位での発表のためそれに合わせる）	人	目標	500,000.00	500,000.00	550,000.00
			実績	382,000.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	観光事業を行う協会への補助、観光客に対する基礎的インフラの整備等の観点から必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	基本的な観光情報の提供や基礎インフラの整備は行政が行うべきである。
	手段の妥当性	A 妥当である	様々な手段を活用し、観光誘客に力を入れている。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	商業観光振興計画に基づき、費用対効果が大きい施策の実現を目指す。
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	直接的には観光客、事業者に資する事業であるが、市民にイベントを提供することで活気を与えるとともに、最終的には税収の伸びが市民に還元される経済循環がもたらされる。
有効性	成果向上の余地	A 上がっている	コロナウイルス感染症も収束の兆しを見せていることから、今後、成果向上が期待される。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	協会実施イベントの精査調整に関しては、協会で市からの事業を受託するなどしていることから、既存イベントの見直しは必須である。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
事業費中、大きなウエイトを占めている協会補助金に対しては、協会事業の見直しを絶えず行う。また、誘客事業である観光情報発信事業が好調なことから、インフラ整備にも力を入れていくべきと考える。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
商業観光振興計画に掲げられた「稼げる観光」の実現に向け、事業者と連携しながら事業を推進する。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 地域資源は、観光には重要な要素であるため、観光協会が主催するイベントとの積極かつ効果的な連携を図るとともに、地域の人との信頼関係の構築との観点からも地域資源の活用方法や新たな資源の発掘・発見が必要である。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 財政状況と可能な限り調和を図りながら進める。	